

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 04-013

PDCA	事務事業名	市民参画支援センター管理事業	部課等名	企画部 市民協働課 市民交流センター担当	担当	富安		
					内線等	32-3430		
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第1章 協働によりともに高め合うまち 節： 第1節 協働のまちづくりの推進 基本施策： 3. ボランティア・市民活動支援 単位施策： (2) ボランティア・市民活動支援体制の充実 個別施策： ④公益的活動の支援						
	根拠法令等	半田市市民参画支援センター管理運営委員会設置要綱						
	対象・目的	半田小学校内の市民参画支援センターを市民交流センターの機能を補完する団体運営のための活動拠点（貸事務所）及び団体用備品保管庫（貸倉庫）として活用し、半田市のまちづくりの活性化を担う市民活動団体の活動を支援する。						
	目的を達成するための手段・活動内容	市民参画支援センターの啓発に努めるとともに、利用団体、小学校、関係各課で構成する管理運営委員会においてセンターの活用促進等を検討する。						
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績		H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①貸事務所利用団体数		6	6	6	団体	
		②貸倉庫利用枠数		14	14	14	枠	
		③						
		事業費		332	368	255	千円	
		人件費		1,249	1,242	1,234	千円	
		総事業費		1,581	1,610	1,489	千円	
		活動単位当たりのコスト		H30年度	R1年度	R2年度	単位	
	①貸事務所利用団体1団体当たりのコスト		263,500	286,333	248,166	円/団体		
	②							
	③							
	成 果	成果指標		H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①貸事務室の入居団体数	実績値	6	6	6	団体	
			目標値	5	6	6		
②貸倉庫の使用枠数		実績値	14	14	14	枠		
		目標値	14	14	14			
		実績値						
		目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性		有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減余地	ない	
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある			
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない	
	事業の評価・課題	B						
		事務室及び倉庫はすべて団体に利用されており、市民交流センターを補完する活動拠点としての機能を果たしている。今後は、事務室以外の貸会議室等のさらなる有効活用や利用団体間の交流連携を促進していくことが課題である。						
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進					
		管理運営委員会において貸会議室等の有効活用について検討を進めるとともに、拠点利用していない市内の市民活動団体等への周知PRを強化し、半田小学校とも連携を図る中で、市民交流センターを補完する団体活動の拠点としての有効活用を図っていく。						
令和3年度の目標		成果指標				目標値	単位	